



事業番号	16 01 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部
		実施期間	S29～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 県内は、東海地震及び南海トラフ地震、さらには糸魚川-静岡構造線断層帯等の活断層による大規模地震の発生が危惧されるほか、山地が8割を占め、地形が極めて複雑急峻であることから、大雨等による土砂災害発生の危険性も高い。
	【目指す姿】 大規模災害発生時に、迅速かつ的確な初動対応を行うため、精強な救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部の機能強化等により災害への対処能力を高める。
	【実施内容】 災害警備用装備資機材の整備 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	前年度繰越	R1年度	R2年度	
1	装備資機材の整備等により、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する	—	—	—	—	—		予算額	0	0	0
2									現計予算	45,857	46,159
3									合計(A)	45,857	46,159
4									うち一般財源	45,738	46,040
								決算額(B)	44,965	45,417	
								職員数(人)※			

※職員数(人)については、特定の事業に従事する人員を算出できないため未入力

成果指標設定理由	大規模災害から、県民の生命、身体及び財産を守るため、災害警備活動に必要な装備資機材の継続的な整備等を行い、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する必要がある。	
達成状況の分析	大規模災害から県民の生命、身体、財産を守るため、救助用ゴムボート、船外機及び投光器等の装備資機材を購入し、迅速かつ的確な救出・救助体制の充実を図ることが出来た。	
主な取組	<p>出水期に備え、購入整備した災害装備資機材を使用した災害警備訓練を実施（警察本部、各警察署）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">令和2年6月 ボート訓練の状況 (野尻湖、諏訪湖)</p>	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	救出救助活動に使用するために購入した装備資機材は、経年劣化や耐用年数により使用不能となるものが多く、今後も継続して修繕、購入が必要。	適正な管理により使用可能な状態の保持に努めるとともに、修理が出来ないものは順次入れ替えを行い、大規模災害の発生に備える。

事業番号 16 01 03 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部
-----	------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	災害警備対策事業	44,965 千円	45,417 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	災害警備用装備資機材の整備	直接	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策資器材、備蓄装備品の整備 捜索救助用装備資機材の整備 ドローン関係講習受講、スキー講習受講
2	総合指揮室の機能強化	直接	<ul style="list-style-type: none"> 災害警備本部となる総合指揮室表示装置(画像伝送装置含む)の使用料